

NEWS RELEASE



Tanseisha



IGNITION POINT

2018年6月22日

特定非営利活動法人 THAP

株式会社丹青社

イグニッション・ポイント株式会社

福井県・敦賀の歴史と文化交流を継承する イベントの開催に向けた クラウドファンディングを開始

～「人道の港」敦賀市を、日本を代表する文化交流都市に～

福井県敦賀市を基盤に様々な地域活動をおこなう特定非営利活動法人^{タフ}THAP（所在地：福井県敦賀市／理事長：池田裕太郎）、商業・文化施設などの空間づくりをおこなう株式会社丹青社（本社：東京都港区／代表取締役社長：高橋貴志）、ビジネスコンサルティングとイノベーション事業を手がけるイグニッション・ポイント株式会社（本社：東京都渋谷区／代表取締役社長兼 CEO：青柳和洋）は、今秋福井県敦賀市で開催を予定するイベント「敦賀国際文化交流フェスティバル」（以下本イベント）の規模拡大に向け、国内最大のクラウドファンディングサービス「Readyfor」を利用した資金調達を本日より開始します。

本イベントは、「世界をつなぐ港まち、みんなで拓く交流拠点都市 敦賀」を掲げる敦賀市がもつ「人道」の歴史と文化交流（※）の継承と、敦賀の文化交流都市としての発展を目指し、市や地元企業・団体、地域で暮らす人々、さらに歴史的関係の深いポーランド、リトアニア、オランダ、イスラエルの関係各所と連携して開催するものです。4か国の文化に精通した方々を講師として敦賀に招き、語学・音楽・ダンス・料理・工芸品制作等の文化交流を深める機会をより多く創出し、また本イベントを地元敦賀市の方々をはじめとした関係のみならずの興味を喚起し参加を促すことを目的に、クラウドファンディングサービス「Readyfor」を活用いたします。まずは本イベントにおいてより多くのワークショップを開催するための費用 200 万円を目標に定めており、達成した暁には目標金額を上げ、より密度の高い相互交流を深めるため、ワークショップに4か国の留学生を招く費用とします。

敦賀市は今後、日本・ポーランド国交樹立 100 周年（2019 年）、敦賀港開港 120 周年（2019 年）、ポーランド孤児上陸 100 周年（2020 年）、ユダヤ人難民上陸 80 周年（2020 年-2021 年）などの記念イヤーを迎えます。本イベントの開催を継続することで、敦賀市を「ポーランド、リトアニア、オランダ、イスラエルの文化を楽しめる町」として本格的な文化交流都市とする一助を目指します。



日満連絡船出航の風景
（出典：「ふるさと敦賀の回想」より）



ユダヤ人難民たちが上陸した頃の敦賀港
（出典：「ふるさと敦賀の回想」より）



現在の敦賀港

※福井県敦賀市は明治時代、東京と敦賀を結ぶ欧亜国際連絡列車が運行され、敦賀港からウラジオストクを経由しヨーロッパへと繋がる、大陸の玄関口として栄えていました。敦賀港は、1920 年代にポーランド孤児、1940 年代には杉原千蔵が発給した「命のビザ」をもつユダヤ人難民が上陸した日本唯一の港で、当時の市民が難民を温かく受け入れた「人道」の歴史があります。



■ 「敦賀国際文化交流フェスティバル（英語名：Tsuruga International Culture Festival）」開催概要

テーマ：敦賀「人道」の歴史と文化交流の継承

内容：ポーランド・リトアニア・オランダ・イスラエル各国の文化体験及び文化交流

開催日程：2018年11月3日（土）～4日（日）（予定）

主催：敦賀国際文化交流フェスティバル実行委員会 [NPO 法人 THAP、(株)丹青社、イグニッション・ポイント(株)]

後援：敦賀市

会場：福井県敦賀市金ヶ崎町周辺（金ヶ崎緑地、敦賀赤レンガ倉庫、きらめきみなと館等）

■ イベント開催の背景

（1）敦賀における歴史的価値の再認識

敦賀港が果たしてきた歴史的役割を市民が再認識するとともに、国内外に向けて広く情報発信をおこない、敦賀の魅力とブランド力の向上につなげることができます。

（2）歴史的な関係をもつ国々との友好関係の継承

「人道の港」当時から100年が経過し、地元・敦賀においてもその記憶が徐々に薄れてきています。ポーランド孤児、ユダヤ人難民が上陸した歴史を風化させることなく、現代から未来に向けて友好関係や文化交流を継承することが重要視されています。

（3）持続可能性と経済循環を生む運営の在り方

昨今、公的財源に頼ることなく自律的かつ継続可能なイベント開催の在り方が問われています。また、一時的な集客に留まらず、地域経済循環を促すことが期待されます。

■ イベント代表者コメント

実行委員長 池田 裕太郎 [NPO 法人 THAP（タップ） 理事長]

敦賀市は天然の良港で、敦賀港を拠点として往古から我が国各地域とアジア大陸を結ぶ交易拠点として栄えてきました。我々は敦賀がもつ素晴らしい歴史や文化を国内外に広く発信するとともに、歴史的関係の深い国々の人々や文化に市民が触れ、身近に感じる機会をつくりたいと思います。本イベントを今後も継続的に実施することにより、敦賀と歴史的関係性の深い国々との関わりが市民に根付き、敦賀市が国際色豊かな街になる事を願っています。



副委員長 吉田 清一郎 [(株)丹青社 文化空間事業部 事業開発統括部 統括部長]

指定管理者として「敦賀赤レンガ倉庫」の施設運営に携わるなかで、敦賀には「人道」の歴史をはじめ、まだ十分に知られていない魅力がいっぱいあると感じています。今回の国際文化交流イベントを通して、敦賀の地域資源価値を世界へ発信していくことで、地域のさらなる活性化に貢献ができることを願っています。



副委員長 田代 友樹 [イグニッション・ポイント(株) Senior Manager]

本イベントは今年が最初となりますが、これから毎年継続することで敦賀という地に定着し、各国との友好関係を未来に向けて発信できるものに育てていきたいと考えています。ベンチャー企業である当社らしい貢献ができることを願っています。





■ クラウドファンディング実施概要

掲載サイト : Readyfor (レディーフォー) <https://readyfor.jp>

寄付募集期間 : 2018年6月22日(金) 16:00 ~ 8月24日(金) 23:00

プロジェクト名: 人道の歴史をつなぐ! 国際文化交流フェスティバルを開催したい!

プロジェクトページ: <https://readyfor.jp/projects/tsuruga-festival>

目標金額 : 200万円(ワークショップ講師招聘費用として)

期間内に達成した際は、4か国出身留学生の招聘費用として、さらなる目標金額を設定いたします。

■ 特定非営利活動法人 THAP (タップ) について

敦賀のまちづくりを目指した市民ボランティア団体として結成。敦賀市公認キャラクター「ツヌガ君」の所有管理と運営をおこない、保育園の訪問や観光宣伝活動を実施しています。THAPの独自事業のほか、行政や公益団体等と連携した公的イベントの開催や、定期的に緑地や海岸の清掃活動にも取り組んでいます。

団体名: 特定非営利活動法人 THAP (タップ)

所轄庁: 福井県

結成 : 2000年(04年より特定非営利活動法人として認証)

理事長: 池田裕太郎

URL : <https://www.facebook.com/npothap>

■ 株式会社丹青社について

「こころを動かす空間創造のプロフェッショナル」として、商業空間から文化空間、イベント空間など、人が行き交うさまざまな空間を、企画、デザイン・設計、制作・施工、運営まで、空間づくりの幅広いプロセスをトータルサポートしています。敦賀市では、「敦賀赤レンガ倉庫・ジオラマ館」の企画、デザイン・設計、制作・施工、平成27年からは指定管理者として施設の運営管理に携わっています。

社名 : 株式会社丹青社

所在地 : 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス19F 〒108-8220 (本社)

設立 : 1959年12月25日

資本金 : 40億2,675万657円(2018年1月31日現在)

上場 : 東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 9743)

URL : <https://www.tanseisha.co.jp>

■ イグニッション・ポイント株式会社について

デジタルイノベーションや新規事業開発の支援をおこなうコンサルティング事業を中核に、トップレベルのデザイナー・クリエイター陣から構成されるクリエイティブ事業、先端的かつ成長性の高いベンチャービジネス開発を進めるイノベーション事業を相互に融合させることで、これまでに無い価値を市場や地域社会に生み出し続けています。

社名 : イグニッション・ポイント株式会社

所在地 : 東京都渋谷区東1-32-12 渋谷プロパティタワー1F “SPARK 2045” (本社)

設立 : 2014年6月4日

URL : <http://www.ignitionpoint-inc.com>

[本件に関するお問い合わせ先]

□(株)丹青社 広報室: 山岡、栗尾 (Tel: 03-6455-8115, Email: pr-staff@tanseisha.co.jp)

□イグニッション・ポイント(株) 広報: 小松 (Tel: 03-6434-1412, Email: info@ignitionpoint-inc.com)